



役場庁舎と保健センターの 耐震補強等工事に着手します

問 財政課 Tel55-2278

柴田町役場庁舎は、昭和48年に完成し、約47年経過しています。現行の耐震基準が制定された昭和56年以前の旧基準に基づき建設された建物で、耐震診断を実施した結果、耐震性が不足していることが分かりました。

役場庁舎は、町民の皆さんが日常生活を営むために必要な行政サービスの窓口など、さまざまな機能を備えているほか、地震など大規模災害時の活動拠点となる重要な役割を担う施設です。今回の工事では、耐震補強をはじめ、老朽化した施設の改修や防災機能の強化を図るための改修工事を進めていく予定です。役場庁舎に併設する保健センターなどについても、経年による劣化が見られることから、併せて改修工事を実施します。

工事の概要

主な工事は、建築・機械設備・電気設備を予定し、工事費の合計は約11億4,400万円となります。このほか、工事監理や通信環境の整備などを見込んでおり、すでに完了した実施設計業務を含めると、総事業費は約12億円となる見込みです。

この事業費を賄う財源として、耐震化が未実施の庁舎を耐震化する場合にのみ活用できる国の財政支援制度の緊急防災・減災事業などを活用します。これにより、町の実質負担を4億円程度と見込み、将来の財政負担が大きくなるような工夫して取り組んでいきます。

工事期間は、令和2年度から令和3年度までの2カ年を計画しています。

壁の強度を上げて建物を地震に耐える構造にする耐

施設の概要

- ・役場庁舎（昭和48年12月完成 昭和63年8月一部増築）
鉄筋コンクリート造：地下1階、地上6階建て 延べ床面積 4,803㎡
- ・保健センター（昭和59年4月完成）
鉄筋コンクリート造：地下1階、地上4階建て 延べ床面積 2,210㎡

主な工事

- ・建築工事（耐震補強・内外装など）
- ・機械設備工事（空調・給排水改修）
- ・電気設備工事（受変電改修・LED化）

震補強工事では、壁の面ごとにV字型に鋼管を設置する鋼管ブレースや耐震壁の設置を予定しています。

また、外壁の塗り替えや内部の天井、床、壁などの仕上げ材の張り替え、空調・換気設備、給排水設備の改修やトイレの洋式化、照明器具のLED化や受変電設備の改修を実施し、防災拠点としての機能強化を図ります。

工事期間中の 窓口業務などについて

今回の耐震補強等工事では、事業費を抑制するため仮設庁舎は建設しません。現庁舎・保健センターで工事エリアを5つに分け、工程に合わせて各課の窓口、事務室を庁舎や保健センター内の別の場所へ移動し、そこで通常業務を行いながら、工事を実施していくこととなります。

なお、多くの方が手続きされる、転入・転出・転居・死亡・出生などの住民異動およびこれに関連する業務については、庁舎1階フロアにおいてこれまで通り手続きが完結できるよう、町民環境課と関係各課の窓口を配置します。

しかし、工事期間中の各種窓口業務では、通常より手続きに時間を要することが考えられるため、各種手続きには、時間に余裕を

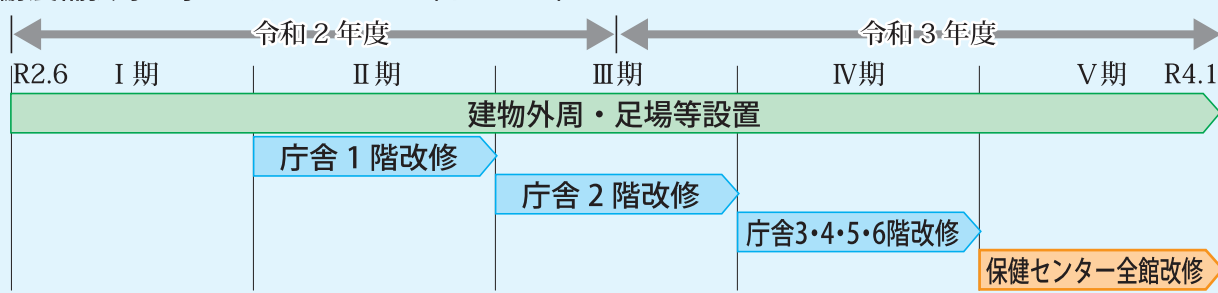
もってお越しいただくようお願いいたします。

各種会議や健康診断などについては、庁舎・保健センターが当面の間利用できなくなるため、一部を除いて各生涯学習センターを活用することになるなど、例年と会場が変更になる予定です。それぞれの案内をご確認いただくようお願いいたします。

今後、工事の進捗状況や窓口の移設など、詳細な情報については、広報しぼたお知らせ版やホームページで随時お知らせしていきます。

町民の皆さんには、工事期間中、長期間にわたり、ご不便をおかけしますが、できる限り皆さんの負担を軽減できるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

耐震補強等工事のスケジュール（イメージ）



庁舎・保健センターにお越しいただく際のお願い

庁舎改修工事に先立ち、敷地内の支障物撤去や足場設置などの建物外周工事を予定していますが、7月中旬以降、すべての工事が終了するまでは、駐車スペースや敷地内での通行が制限されるため、お車でお越しの際は、通行に十分ご注意ください。なお、駐車場は、庁舎北側の正面入口駐車場が閉鎖となり、保健センター東側駐車場のみになります。満車の場合は、柴田町図書館北側の駐車場をご利用ください。

また、正面入口は閉鎖しますので、東側の保健センター入口をご利用ください。

